



熊本城の本丸御殿で披露された文楽

熊本城

本丸御殿で清正文楽

3月の本公演前にPR

熊本城を舞台にした加藤清正(1562〜1611)の文楽「八陣守護城」が今春、初めて地元・熊本で上演されるのを前に29日、PRのための上演が熊本城本丸御殿で行われた。本公演成功を願う、国立文楽劇場(大阪市)の演者が厳かな舞台を約20分間、披露した。

本市中央区大江)で3月27日に行われる。清正の生誕450周年に当たる昨年6月、県民有志が発起人会を結成。大掛かりな舞台装置の「御座船」(全長約10m、幅約3.5m)を買い取るなど、準備を進めてきた。

(京都)での会見を仲介し、熊本に帰ってすぐに死去したことから、「家康に毒を盛られた」という俗説に基づく内容。

本公演は午後2時と同7時の2回、県立劇場演劇ホールで行われる。S席6千円、A席5千円、B席3千円。問い合わせは事務局☎096(288)4635。

作品は、秀吉の死後も豊臣家に忠義を尽くす清正が徳川家康との二条城